

# 平成26年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会議事録

1 日時：平成26年5月22日（木） 午前9時15分～午前11時41分

2 場所：千葉中央コミュニティセンター3階 「調停室」

3 出席者：

(1) 委員

錦織 明委員（部会長）、善積 康夫委員（副部会長）、谷藤 千香委員

(2) 事務局

(都市局)

河野都市局長

(公園緑地部)

岡田部長

(都市総務課)

増田都市局参事兼課長、内海課長補佐、村上総務係長、中野主任主事

(公園管理課)

竹本課長、篠田課長補佐、中臺管理係長、高橋主任主事、長瀬主任主事

4 議題：

- (1) 千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の年度評価について
- (2) 千葉市蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の年度評価について
- (3) 千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の総合評価について
- (4) 千葉市蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の総合評価について

5 議事の概要：

平成25年度指定管理者評価シート、平成25年度事業計画書、平成25年度事業報告書及び指定管理者財務諸表をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会による評価を受け、当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、改善を要する点及び当該指定管理者の倒産、撤退等のリスクの把握について、都市局指定管理者選定評価委員会から意見を聴取した。

また、指定管理者総合評価シート及び指定管理者総合評価資料をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会から現指定管理者の管理業務及び次期指定管理者の選定に向けた意見を聴取した。

- (1) 千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の年度評価について

ア 指定管理者 シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体

イ 部会の意見

(ア) 全般的には、利用者数、稼働率ともに安定しており、良好な管理運営が行われている。

(イ) 利用者の要望にできるだけ応えるとともに、対応が困難なものについては、

理解を得られるように努めること。

(ウ) 魅力あるイベントの誘致をさらに進め、施設の認知度及び信頼度の向上に努めること。

(エ) アンケートの回答数が減少していることから、利用者ニーズの把握をより積極的に行うこと。

(2) 千葉県蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の年度評価について

ア 指定管理者 シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体

イ 部会の意見

(ア) 自主事業の積極的な展開や、アンケートに見られる利用者からの要望への対応など、良好な管理運営が行われている。

(イ) 利用者層や利用回数などの分析を行うことで、利用率を向上させるとともに、テニススクールのPRとその成果の周知を積極的に行うこと。

(ウ) 広報に力を入れるべきであり、チラシによる来場者が多いことから、置き場所を増やすこと。

(3) 千葉県蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉県蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の総合評価について

ア 指定管理者 シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体

イ 部会の意見

(ア) 利用促進の観点から、魅力あるイベント誘致の提案や、効果的な広報の提案を重視すること。

(イ) 広報活動を工夫するとともに、自主事業について長期的に継続していくものと、新規に実施するものを取り入れること。

(ウ) 利用者ニーズを把握するためにはアンケートが重要であるため、回答者数を増やすよう努めること。

(4) 千葉県蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の年度評価について

ア 指定管理者 シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体

イ 部会の意見

(ア) 施設効用発揮のための利用促進策が功を奏しつつあるため、効果的な取り組みについては、継続・発展させていくこと。

(イ) 自主事業についても、モニタリングを行えるような枠組みを検討すること。

(ウ) 苦情のフィードバックを適切に行うこと。

(エ) 収支が赤字であることはやむを得ない面もあるが、次期に向けて、スクールやアカデミーの料金設定も検討課題としていくこと。

## 6 会議経過：

○事務局 委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより平成26年度第1回千葉県都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催させていただきます。

申し遅れましたが、私は本日の司会を務めさせていただきます都市総務課課長補佐の内海と申します。どうぞよろしく願いいたします。

本日の会議でございますが、3名全ての委員の皆様にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

初めに、開会に当たりまして、河野都市局長からご挨拶申し上げます。

○都市局長 おはようございます。4月1日付で都市局長に就任いたしました河野でございます。よろしくお願いいたします。

本日は委員の皆様にはお忙しいところ、第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、日ごろから本市の都市行政あるいは市政全般にわたりまして多大なるご支援、ご指導をいただいていることを厚く御礼申し上げます。

本日のスポーツ部会は、まず年度評価として、蘇我スポーツ公園内にあります千葉市蘇我球技場ほか2施設について、指定管理者評価シートをもとに平成25年度の管理運営状況について部会としてのご意見をいただく予定でございます。また、これらの施設については指定期間の最終年度となりますので、総合的な評価をあわせて実施させていただきますので、委員の皆様にはそれぞれの立場から忌憚ないご意見をお願いいたします。

なお、千葉マリスタジアムの年度評価につきましては、7月ごろに実施し、現在整備を進め、平成27年度4月から供用を開始する蘇我スポーツ公園第2多目的グラウンドを含めた蘇我スポーツ公園内全5施設の平成27年度以降の指定管理者候補者の選定を7月と10月に予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、年度の当初でもありますので、今年度のまちづくりということで若干触れさせていただきますと、今年も都市整備あるいは公園、それから住宅等々、様々な事業を推進して参りますが、特に今回の蘇我地域につきましては、東口の駅前広場の計画を進めるとともに、蘇我スポーツ公園につきましては、第3多目的グラウンド整備等に着手して参ります。それから、今後評価していただきます千葉マリスタジアムを含めました海浜公園等につきましては、海辺の活性化についてグラウンドデザインを策定しますとともに、関連した事業を推進していく予定でございます。これらのまちづくりにおいては、今回あるいは次回評価していただくようなスポーツ施設が非常に中核的な施設になる重要なものがございます。適正な管理を進めて、市民に利用していただきやすい施設としていくことが非常に重要だと思いますので、引き続きよろしくお願いいたしますと思っております。

以上、簡単でございますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○事務局 河野都市局長につきましては、本日所用がございますため、これをもちまして退席とさせていただきます。

○都市局長 それでは、失礼します。よろしくお願いいたします。

(河野都市局長退席)

○事務局 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成についてご説明いたします。

お手元の資料3、千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等についてをご覧ください。

本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの(1)のとおり、公開としております。

また、会議録につきましては、2、議事録の確定の(1)及び3、部会の会議への準用のとおり、事務局が作成した案に対する部会長の承認により確定することとなっております。

なお、傍聴者の皆様にお問い合わせ申し上げます。傍聴にあたりましては、お手元の資料4、

傍聴要領に記載された事項をお守りいただきますよう、お願いいたします。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

錦織部会長、よろしくお願いたします。

○部会長 錦織でございます。それでは、私が議事進行をさせていただきます。会議を円滑に進めて参りたいと存じますので、よろしくお願いたします。

まず初めに、議題（１）、千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の年度評価に入ります。

初めに、資料６－１、平成25年度指定管理者評価シート、１、基本情報から４、指定管理者による自己評価について、事務局より報告をお願いします。

○公園管理課長 公園管理課長の竹本でございます。よろしくお願いたします。

それでは、資料６－１、指定管理者評価シートについてご説明いたします。

１、基本情報。施設名、蘇我球技場・蘇我スポーツ公園多目的広場。指定管理者、シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体。指定期間、平成22年４月１日から平成27年３月31日。所管課は公園管理課でございます。

続きまして、２、管理運営の実績でございます。

（１）主な実施事業。

①指定管理事業といたしまして、施設管理運営業務、これは施設利用の予約、使用許可、料金の徴収などでございます。維持管理業務、これはフィールド等の維持管理業務でございます。天然芝、人工芝等の維持管理でございます。設備機器管理業務、施設設備機器の点検及び管理でございます。清掃業務、施設内の清掃でございます。それから、保安警備業務でございます。

②としまして、自主事業でございます。

まず、飲食・物販業務でございます。これは売店等の設置及び管理による収益業務でございます。蘇我球技場は売店が22店舗、自動販売機が28台でございます。多目的広場につきましては、売店が3店舗、これは1日のみ設置いたしました。

続きまして、常設看板設置業務でございます。これは蘇我球技場のほうでございます。看板広告の販売業務でございます。全て21枚となっております。

続きまして、スポーツスクール事業でございます。これは永井良和氏、元JFLの選手ですが、その方をスクールマスターに迎え、小学生を対象にサッカースクールを開催いたしました。それから、小・中学生を対象にサッカー1DAYスクールを開催しております。また、小学生を対象に、クボタスピアーズの選手をコーチに迎え、ラグビー1DAYスクールも開催いたしました。

続きまして、イベントの企画・誘致業務でございます。イベント開催団体の誘致、企画・運営に係る業務でございます。まず、ひまわりフェスティバル、それから野菜市・芋煮会、これは年2回、5月と11月、それからワクワク健康づくり教室を開催いたしました。

（２）利用状況でございます。

①利用者数でございます。平成25年度は44万7,133人ございました。これは前年比111.6%となっております。

②稼働率でございます。蘇我球技場につきましては、32.4%、これは対前年度比マイナス0.4%。それから、蘇我スポーツ公園多目的広場につきましては、69.2%、これは全く前年度と増減なしとなっております。

次のページをお願いいたします。（３）収支状況でございます。

①収入実績でございます。単位は千円単位となっております。まず、指定管理委託料でございます。1億1,901万5,000円。それから、利用料金が6,141万1,000円。自主事業が

8,044万1,000円。その他としまして、152万9,000円。合計で2億6,239万6,000円でございます。

②収支実績でございます。人件費が3,903万7,000円。事務費としまして、3,424万2,000円。管理費としまして、1億714万7,000円。自主事業としまして、6,193万1,000円。合計で2億4,235万7,000円でございます。

収支実績につきましては、決算額として2,003万9,000円のプラスということになってございます。

次に、(4)指定管理者が行った処分の件数でございます。処分の状況でございますが、使用許可が2,659件でございます。

続きまして、(5)市への審査請求でございますが、これは件数としましてはゼロでございます。

(6)情報公開の状況でございます。下のほうの四角でございますが、文書開示申し出の状況でございます。市政情報室経由の開示の申し出が1件ございました。これに対しまして開示の手続きを行いました。中身としましては、募集要項、管理運営の基準及び指定管理者が作成した事業計画書でございます。

次のページをお願いいたします。利用者ニーズ・満足度の把握でございます。

(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果でございます。

①アンケート調査の実施内容でございます。アンケート調査につきましては、球技場につきましては、イベント開催時に来場者や利用者にアンケートを実施いたしました。多目的広場につきましては、アンケートボックスを設置し、利用者意見を収集いたしました。回答者数は1,595名でございます。主な質問項目としましては、性別、年齢、居住市町村、それから目的、接客状況、清掃美化の状況、バリアフリー、使いやすさ、来場回数、行ってほしい催し、要望等でございます。

②調査の結果でございます。回答者の属性ですが、蘇我球技場につきましては、イベント来場者が1,044名、イベント主催者が46名、それからフィールド・会議室利用者が131名でございます。多目的広場につきましては、フィールド・会議室利用者が374名でございます。実施事業としましては、各部屋、フィールドの使いやすさ等については、良好な評価を得てございます。スタッフの対応につきましても、接客対応については好意的な意見が多く、良好な評価を得てございます。それから、清掃状況につきましては、多目的広場について若干ご意見がございましたが、おおむね良好な評価を得てございます。多目的広場のトイレにつきましては、たまたまご利用なさったタイミングの状況によるものかなということで分析してございます。それから、総合的な満足度としましては、施設利用者の満足度は高いということで考えております。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情等でございますが、蘇我球技場につきましては、「コンサートを実施してほしい」というご意見がございました。これにつきましては、指定管理者のほうで天然芝を養生する資材を開発中でございまして、それを使用できる状況になった段階で、コンサート等の誘致を検討してございます。それから、「全席にカップホルダーを設置してほしい」というご要望がございました。それから、「飲食店の充実、販売メニューを変えてほしい」というご要望がございました。これにつきましては、マンネリ化の傾向がございます。ですので、新たな売店の配置や季節に応じたメニューなど、工夫を行うこととしております。それから、試合時は対戦チームの所在地の物産展を出店する等の工夫をいたします。

次に多目的広場でございます。「大会等の試合前にアップする場所がないので、整備してほしい」というご意見がございました。それから、「人工芝が滑りやすい」というご意

見がございまして、これに対しましては、ゴムチップを補充しまして、その後の経過を見ている状況でございます。それから、「トイレが汚れている」というご意見がございました。これにつきましては、利用者が多い大会や雨天時はトイレ清掃を適宜行うことで対応してございます。

次に、(2)市に寄せられた意見、苦情でございます。意見、苦情の収集方法でございますが、市長への手紙、電話、電子メールなどがございます。件数としましては、2件ございました。主ないただいた意見と苦情、それへの対応でございます。

まず、市長への手紙1件目でございますが、「多目的広場のスタッフがたばこを吸いながら大声で話をしていた」と。「施設を管理する立場として不適切ではないか。利用者が不愉快な思いをしないようにしていただきたい」というご意見です。それからもう一つ、これも市長への手紙でございますが、「全国高校サッカー選手権大会で、出場高校の応援団が施設側に電源の使用を断られたため、発電機を持ち込んで対応していました。なぜ施設の電源を使用させないのか、電気代を徴収するなどして使用できるようにすべきである」というご意見でございます。

これらにつきましては、市長への手紙①につきましては、スタッフに対し口頭での注意を行いました。公園内は、基本的に禁煙でございますので、この点の指導が至らなかった部分があったと思いますが、その辺は厳重に注意してございます。それから、市長への手紙②ですが、当該大会開催時の電源(コンセント)の使用につきましては、大会主催者及び指定管理者に事実を確認し、学校側から大会主催者に使用の相談がありましたが、大会運営上、大会主催者が施設の電源を使用しないと決定したため、お断りしたという経緯がございます。

続きまして、4、指定管理者による自己評価でございます。

1つ目ですが、Jリーグの試合のほか、昨年度に引き続き女子代表の国際試合や全国高校サッカーを開催し、サッカー協会や関係団体と良好な関係を築き、スムーズな運営になるよう努めました。

2つ目、良好なピッチコンディションを保つため、ジェフ千葉と適宜協議を重ね、要望に最大限応えました。

続きまして、施設の電気使用の力率改善割引を受けるため、頻繁にコンデンサーを手動で入力し、電気料の削減に努めました。また、雑用水の有効活用として、雨水の機器操作を手動で操作し、頻繁にろ過して雑用水槽に供給し、浄水の使用を抑制しました。電気と水道につきましては、それぞれ省力化を図ったということでございます。

それから、地域との連携については、積極的に清掃活動や防災活動に参加し、今年度は九都県市合同防災訓練の会場や全国学生救急救命技術選手権の会場として協力するとともに、市防災対策課の協力を受け、地域の合同防災訓練を主体に行いました。

自主事業につきましては、ひまわりフェスティバルや野菜市・芋煮会が地域に定着し、参加者が年々増加しております。また、スクエアで実施しました「みんなでアートとスポーツ」は、障害者と健常者の交流を目的とした初の試みで、400名の参加者から好評をいただいたとのことです。

2月に記録的な大雪に見舞われ、Jリーグプレシーズンマッチであり、第20回の記念大会であった、ちばぎんカップの開催が危ぶまれましたが、主催者や関係団体との良好な関係を生かしまして、除雪資材や作業のボランティア派遣等の協力を得て、除雪作業を行いました。当日の来場者数は1万2,254人と大盛況でございました。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、ご質問あるいは、より適正な管理運営のためのご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

○委員 まず、確認をさせていただきたいのですが、1ページ(2)の利用状況のところの蘇我球技場の稼働率ですが、目標値の36.6%に25年度は少し達していなかったという理由を教えてください。それから、この稼働率の数字ですが、多目的広場の69.2%というのは、後の資料の表で確認できるのですが、蘇我球技場の32.4%というのは後の資料のどこで確認できるのですか。

○公園管理課 まず、稼働率の目標値36.6%に対して32.4%に下回ったという理由ですが、もともとJリーグ等の試合については、年間21試合程度ですので、それ以外の大会の増減が影響している。一般利用も含めて、その数が当初の見込みを多少下回ったというのが主な原因かと思えます。

それから、蘇我球技場の稼働率の導き方といいますか、その計算につきましては、特段資料のほうには入れておらず、申しわけございませんでした。導き方としましては、25年度の実績、年間365日。それに対して毎週月曜日が休場日に当たりますので、それは55日。芝生の養生期間として82日。利用可能日としまして228日。それに対しまして、利用日が74日です。その利用日割る利用可能日で計算しまして、32.4%という数字を導いてございます。

○委員 わかりました。

○委員 今のことに少し関連して、24年度の蘇我球戯場の稼働率は32.8%ですが、25年度の目標値が36.6%になっていて、少し達していません。24年度より若干落ちていますが、これは目標値が高かったため、目標に達してないという数字になっています。市としてはこの目標値のほうを中心に考えているのか、この目標値は、達成できるだろうという数字なのですか。

○公園管理課 目標値を定めた計算式の導き方としましては、25年度の実績に対して5%ほどの増加を見込んでこの数値を導いております。

○部会長 24年度の実績に対してですね。

○公園管理課 そうです。ただ、フクダ電子アリーナについては、非常に特殊なスタジアムでございますので、もちろん一般利用に最大限開放していただきたいというところではあるのですが、目標値を多少下回っていますが、32%という実績に対しては問題ないといえますか、おおむね良好な結果であると考えてございます。

○部会長 はいどうぞ。

○委員 3のアンケートですが、今年度の調査の結果の多目的広場では、回答者が374名という数字になっています。これに関して後ろの過去の資料を見ますと、22年度は417名、23年度は508名で、これらの年度に比べて減っています。事業報告書では全体の利用者は11万4,300です。もともと回答者数が少ないというところですが、さらに過去に比べると減ってきているので、今後は回答者数を増やし、利用者ニーズをもっと酌み取るような形にしていくといいのではないかと思います。

○公園管理課長 少しアンケートの回収の仕方、依頼の仕方ですが、それがネガティブな部分があったので、もう少し積極的にお願いしていくような形をとっていきたいと思います。

○委員 それから、アンケートでもう一つあります。

○部会長 はいどうぞ。

○委員 アンケートの調査結果報告書を見て感じたことがあります。6-5の74ページの蘇我球技場のほうですけれども、問4の「来場回数についてお聞かせください」に対する回

答者数をみると20回以上のところが圧倒的に多くなっています。これは、リピーターの人が多いという数字だと思います。ただ、「はじめて」などの数字が極端に少ないので、リピーターの方を大事にされるということはもちろんですが、新規開拓についてもお考えになったらいいのかなと思いました。

○部会長 そうですね。リピーターだと、何度も来ているうちにアンケートの存在に気がついて出すという面もあるのかもしれないですが、収集の数が少ないですから分析が難しいところでもあります。

○委員 今回のアンケートのことなのですが、リピーターの話は、実際に来場者でリピーターが多いという話なのか、アンケートを答えている人はリピーターが多いという話なのか、その辺りは、アンケート以外に実際の来場者に関しては別の形でデータがとれるのかなという気もします。実際のところを把握するというのと、アンケート自体は、リピーターだから気がついて回答してくれたということもあるかもしれないので、その辺りは少し意識をしてアンケート結果を見ていただきたいと感じました。

それから、会場で設置しているタイプは、ややネガティブなとり方だったというような話があったのですが、それも含め、リピーターが気がついて回答したということも想像してこの結果を見ますと、やはり要望がとても多いなという感じがします。ネガティブなとり方をしますと、比較的強い意見が出やすいとは思いますが、いずれにしても、この答えの③番の意見とか、それからアンケートではないにしても、市長に寄せられた意見とか、幾つかのものについては対応しているように見受けられるのですが、例えばアンケートでいうと、細かいところですが、カップホルダーを設置してほしいとか、アップする場所がないので整備してほしいとか、それから、先ほどの発電機の問題とか、その辺りに関してどのように対応されたかを把握されてますか。それから、市としては、どんな対応をして欲しいという要望があるかをお伺いできればと思います。

○公園管理課長 まず、カップホルダーですとかアップする場所につきましては、これは指定管理者ではなく、要望に応えるとすれば、市の方で対応しなければいけない部分でございまして、指定管理者では対応できていないという状況でございまして。

それから、市としてどういう対応を図っていくかということなのですが、実際にカップホルダーを設置するということだと、相当の予算がかかりまして、現段階でフクアリにそこまでの設備投資をすることができるような状況ではございませんので、現状でご利用いただいて納得していただくということで、ご理解をしていただくような形でございまして。

それから、電源等につきましては、これは指定管理者と相談の上、対応というか改善は図れる部分ですので、こういった部分につきましては、寄せられたご意見をもとに適宜改善を図っていききたいと思います。

○公園管理課 補足しますが、カップホルダーの件につきましては、フクダ電子アリーナの椅子席が2タイプございまして、一般的な椅子については、平板といいますか、背もたれのない椅子になりますので、どこにつけるのかという議論になります。もちろん、予算の関係もございまして、座った来場者の方たちに対して、どこにつけるべきなのかということももちろん考えなければいけないことにはなると思いますので、そこのご要望があったということはこちらも真摯に受けとめますが、どう対応するのかは、今後の検討になります。

電源につきましては、指定管理者の立場としては、容量のオーバーをしない場合は基本的には認めていると聞いてございます。ただ、今回あった案件につきましては、高校サッカーのときにそういったご意見がありまして、最終的には大会主催者のご判断で断ったことです。断った理由としましては、一部だけ認めると公平性に欠けるという判断が主



催者側であったということで、お断りしているのが実際のところでございます。

○部会長 他にございますか。

○委員 利用者ニーズでアンケート調査をしたときに、それは指定管理者が答えるべきことではありませんとか、あるいは、現実的に無理なんですという要望も出ることはたくさんあると思いますが、利用者の要望に対する気持ちを解決することが一番大事だと思います。すぐには浮かびませんが、カップホルダーが欲しければ、もう少しいい席があるのですよとか案内すると、ああ、こちらの席なら仕方がないなと納得します。現実的にその課題を解決するかどうかではなくて、その気持ちを持った利用者をいい気持ちになれるよう導けるといいのかなと思います。ですので、それも含め、検討するというのも、どういうふうに検討するのかとか、こんな方向がありますとか、ここはちょっとできませんとか、そういう話が出るような形に協議していただければと思います。

発電機の話は、自分が見ているところの近くで発電機が「がー」となっているというのが想像できなかったのも、それはちょっと快適ではないように思ったものですから、その辺り、何か指針みたいなものがあったらいいのかなと感じました。

○部会長 今の発電機に関して、アンケートに出てきた要望について考えると、主催者の判断を尊重せざるを得ないのでしょうか。指定管理者は、主催者が今回使わないと言っているのに、いや、そういう要望があるから使わせるというのは少しおかしいと思うので、やはり主催者の判断が第一という理解でよろしいのですね。

○委員 ただ、連動して、発電機を持ち込んだというところが、そのルールはないんですよ、今のところは。ちょっと想像がつかないので。

○公園管理課長 バンドの横で発電機が鳴っているという状況ですね。

○委員 はい。そちらが連動してしまったというところが少し気になったところです。

別件の収支状況のところ、支出で自主事業が計画比9割となっています。受講生が下回ったということですが、実際これだけ使いたかったのに使えなかったということではあるかと思うのですが、ちょっと表現が良くないのですが、すべきことを9割しかしなかったともとれなくはない気もするのですが、市としての考えは何かありますか。

○公園管理課長 結果的に受講生が計画を下回った状況でございます。それにつきましては、宣伝の仕方、募集の仕方等の工夫が足りないといえば、そういう点があったのかもしれないのですけれども、いずれにしても、計画の数字に達するような形で、今後は募集の仕方ですとかあるいは周知の仕方についての工夫をするように指導してまいります。

○部会長 よろしいですか。

○委員 はい。

○部会長 私から資料を拝見していて何点か疑問に思ったことがあるので、お聞きします。

まず、2の管理運営の実績のところのイベントの企画・誘致業務の最後のほうですが、ワクワク健康づくり教室というのがあります。これは、週1回3教室で合計49回。49回で参加者数が合計で62名しかいないということですから、意味合いがよくわからなかったのです。それで疑問に思ってインターネットのホームページで太極拳の教室などの写真が出ていたので見てみたら、2012年3月15日には20人近くが1回の教室で写っていたり、あと、今回いただいた資料6-5の56ページにも太極拳の写真が出ていて、8名ぐらい写っているんです。だから、25年度が合計62名というのが少ないのかなと思ったのですが、どういったことですか。

○公園管理課 実際の各教室の合計数は、3つの教室に分かれていて、最終的な人数が62という数字で記載してございます。

○部会長 教室の受講料は1回1,000円ですか。

○公園管理課 そうです。申し込んでいただいて、3つのプログラムを用意してございますので、そこにそれぞれが参加をしていただくという教室になります。

○部会長 3教室で合計62名と考えればいいんですね。

○公園管理課 そうです。

○部会長 62名が何回も何回も参加しているわけですね。

○公園管理課 そうです。

○部会長 わかりました。

その関係で見ていったところ、教室が木曜日の10時から11時半と書いてあって、そうすると、退職されている方は参加できますけれども、それ以外は難しいのかなど。これは土日とか、やっぱり夜間というか夕方は難しいのでしょうか。

○公園管理課 指定管理者との話しにはなるのですが、Jリーグの開催がないとか、そういった日で開催というのは可能だと思います。ただ、年配の方ですと、地域の行事等も土曜日、日曜日にあるかと思えますし、どこをターゲットに絞るかというところに1つ重きを置いて曜日を設定したらどうかというお話はさせていただきますので、部会長からご提案いただいた土日という開催も1つ念頭に置いてお話をさせていただきます。

○部会長 そうですね。利用者増を図るための方策としての一つの検討課題として考えていただければと思います。

それから、関連しまして、資料6-5の89ページと92ページです。まず、92ページを見ていただくと、上の四角のところ、「太極拳に参加しているが、グループから無視されて、嫌がらせを受けていると感じる」という、いじめのようなことがあったので、調査したところ、そういうことはどうもなかったが、その方は辞めてしまった。子供でもそうですが、いじめの問題は非常に難しく、なかなか表に出てこないものです。一番感じるとしたら、インストラクターの方ですね。だから、インストラクターの方に、今後こういうことについては気を配っていただくようお願いしていくような方向でやっていただければと思います。

それから、収支のところ、資料を見ていてわからなかったのが、資料6-5の11枚目の裏、平成25年度運営維持管理業務の収入内訳書（明細）というのがございます。これを見ていたら、利用料収入で、Jリーグは、消費税を合わせると67万5,000円と書いてあります。その少し下のなでしこリーグを見ると、2万3,375円。随分Jリーグと違うというか低いのですが、この違いは何ですか。

○公園管理課 まず、Jリーグの試合につきましては、条例に位置づけた基本額がございしますので、その金額を徴収してございます。

なでしこリーグにつきましては、Jリーグはプロの扱いになりますので、プロ料金の基本額が適用になりますが、なでしこは、ごく一部のプロ選手はいるものの、ほとんどがアマチュアと言ったら語弊があるかもしれないのですが、料金形態としてはJリーグではない料金を徴収してございます。

○部会長 わかりました。

そのなでしこの関係で、4の指定管理者による自己評価のところに、女子代表の国際試合などを開催したという記載があります。これはとてもいいことだと思いますけれども。例えば、なでしこリーグの今年のホームページを見ると、フクアリでの開催というのはいないように見えたのです。ジェフ千葉レディースというのは、なでしこではありますよね。地元のチームがあるのにフクアリでの開催はないのでしょうか。

○公園管理課 ジェフ千葉のレディースとして活動はされています。もちろん、フクダ電子アリーナにつきましても、前期で1試合、アルビレックス新潟の試合が1回開催されてご

ざいます。結局、どこを会場にするかというところで、日程的な問題、費用的な問題、そういったものがチームにもございますし、市原にあるゼットエーオリプリ、昔の市原臨海球技場ですね、そういったものを会場として使われたり、色々な球技場を会場として利用されてございますので、フクダ電子アリーナはその会場の一つとして使っていただいています。全く使わないことや、年2試合とかそのぐらいの開催にはなってしまうのですが、そこはチームの事情等もございますので。

○部会長 もう少しやっていただけると施設の魅力が増すかもしれません。誘致という点で何か魅力を出していただければと思いますが。

○都市総務課長 ジェフユナイテッド市原・千葉は、基本的には市原市と千葉市がホームタウンになっております。当然のことながら、本来であればJリーグの開催も、市原にも同じような球技場、前に本拠地としていた場所があるので、そこでもという要望があります。両市の観客というか、いらっしゃる方からすれば、市原の方は市原でもやって欲しいというのがあるため、なでしこは、市原の臨海球技場を主にメインとして使っています。それから、市原市の佐久間市長も、Jリーグは人数が多かったりするので千葉市に任せておいて、なでしこについては少し力を入れていきたいというようなことをおっしゃっていることもありまして、チームのほうも全部フクアリというわけにいかないというお考えがあるというように、伺っています。

○部会長 なるほど。わかりました。

○都市総務課長 だから、市の中でだけという部分にはならない複雑な事情があると聞いております。

○部会長 私も最近、なでしこリーグに前より興味を持ってきたものですから、疑問を持ったのですが、深まった知識を得ました。ありがとうございました。

それから、資料6-4の1ページを見ていただいて、破損・不具合というのがあります。その破損・不具合の内容を見ると、これは地震の影響なのでしょうか。地震は最近でも時々ありますけれども、亀裂だとか石段のずれ、門のゆがみだとか、こういったことは地震の影響と考えられるのでしょうか。

○公園管理課長 地震の影響がないとは言えませんが、やはり経年劣化の部分が大きいと思います。

○部会長 わかりました。今後とも、気を配っていただければと思います。

それから最後に、資料6-4の16ページ、上のほうに事故報告がありまして、救急車を蘇我球技場で4回、多目的広場では5回、呼んだようですが、救急車を呼ぶというのは非常に判断が難しいと思うのです。最近救急車を簡単に呼び過ぎるという、救急隊側から少し注意してくださいという要請もあるようなのですが、めまいとか打撲と書いてあったものですから、救急車を呼ぶほどの事例だったのか。そういう点で、救急隊のほうから何らかの注意などは今までないですか。

○公園管理課長 救急隊のほうから、これは呼ぶ必要は無いというようなお話は基本的にはございません。めまい等につきましても、その原因がサッカーとかフットサルとか、そういった激しいスポーツの中ですので、頭同士をぶつけた結果のめまいとか、そういうこともございますので、救急車を呼ぶほどではないというような状況ではございません。

○部会長 確かに難しいところです。躊躇して症状が重いものだったりしたら、大変な問題になります。わかりました。

それでは、1、基本情報から4、指定管理者による自己評価については以上で終わります。

続きまして、4ページ、5、市による評価について事務局よりご報告をお願いします。

○公園管理課長 それでは、市による評価についてご説明をいたします。

まず初めに、下の履行状況の確認からご説明いたします。

(1) 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理でございます。

関係法令等の遵守。これにつきまして、個人情報保護及び情報公開の規程・管理、これにつきましては、関係法令を遵守し、個人情報保護管理規程を策定して方針を定め、内部教育等で徹底を図りました。評価については2、仕様、提案どおりの実績・成果があったと判断してございます。続きまして、施設利用時の適切な手続。予約から利用完了まで管理基準の要件に沿い、適切な手続や料金徴収を行ってございましたので、2でございます。それから、労働関係法令を遵守した労働条件の確保、こちらも2でございます。

続きまして、モニタリングの考え方。利用者アンケートの実施でございます。蘇我球場は、年4回のイベント来場者向けアンケートを実施いたしました。多目的広場につきましては、カウンターに常設して意見、要望等を年2回集計し、業務改善に生かしましたので、2でございます。指定管理者による自己評価の実施でございます。毎月セルフモニタリングを実施し、業務改善に生かしておりましたので、2でございます。

続きまして、施設の適正な管理。事業計画書及び事業報告書の内容でございます。管理運営基準に適合した計画書を作成し、計画に基づく内容を実行した報告書を遅滞なく提出しておりましたので、2でございます。

続きまして、(2) 市民サービスの向上。

利用者サービスの向上です。条例で定める供用日・供用時間外の貸し出しでございます。大会等の利用者のニーズに合わせ、供用日・時間外の施設貸し出しを行ってございました。多目的広場では、夏季限定で早朝利用を実施し、好評を得ておりましたので、これは提案を上回る実績・成果があったと判断できますので、3でございます。続きまして、予約システムの管理。予約システムを適切に管理し、利用者の利便性の向上に努めましたので、2でございます。

続きまして、(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力。

利用促進の方策。広報・プロモーションの促進でございます。インターネットの情報更新、施設利用者に施設案内のリーフレットを配布する、また、視察や取材の対応等で広報活動を図りましたので、2でございます。

続きまして、自主事業の効果的な実施。ひまわりフェスティバル、野菜市・芋煮会の開催でございます。これらの地域イベントを開催いたしましたので、評価としては2でございます。

次のページでございます。市・関係機関等の連絡・調整。定例会の開催。市との定例会を開催したほか、随時、連絡調整を行いましたので、2でございます。

利用調整会議の開催。関係機関との利用調整会議を行ったほか、随時、利用前後の連絡調整を行ってございましたので、2でございます。

続きまして、Jリーグ開催における施設管理能力です。施設・フィールドの維持管理でございますが、クラブと連絡調整を行い、天然芝のピッチコンディションの維持に努めましたので、2でございます。清掃につきまして、計画に基づき適正に行いました。また、地域清掃に積極的に協力しておりましたので、2でございます。保安警備、こちらも計画に基づき、適切に行ってございました。また、クラブと協力し防災訓練を実施してございましたので、2でございます。続きまして、臨時駐車場の運用です。近隣施設への迷惑駐車防止のため、クラブと協力しまして公園内の臨時駐車場の運用に努めておりましたので、こちらは評価としましては3でございます。

緊急・非常時の対応です。けが・事故等への対応。適切に対応を行い、市への報告も速

やかに行っておりました。指定管理区域外の事案にも適切に対応しておりましたので、評価としましては3でございます。

次に、管理経費の縮減です。節減への取り組み。予算の執行状況でございますが、収入計画比が101.5%、支出計画比が99.0%、収支状況が良好であると認められております。評価としましては2です。

合計で39ポイント、平均で2.2という結果でございます。

これらに基づきまして、左、ページの上の部分でございますが、市による評価としましてはA、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていたものと判断し、評価いたしました。

市の所見でございます。

ジェフ千葉やサッカー協会等の関係団体と緻密な関係を構築し、Jリーグや各種大会、イベントの開催に支障がないよう、維持管理を行っておりました。また、チームの意向を踏まえ、芝の維持管理方法を調整し、ホームスタジアムとしてよりよい試合環境を整えておりました。

周辺地域との連携の取り組みとしましては、近隣の商業施設や企業等とともに、地震を想定した地域合同避難訓練を実施したほか、地域の消防団活動にも積極的にかかわり、昨年度に引き続き消防団より精勤賞を受賞してございます。また、蘇我スポーツ公園が第34回九都県市合同防災訓練の実施場所であったため、関係団体と調整を図り、円滑な訓練実施となるよう努めておりました。

自主事業の取り組みとしましては、蘇我スポーツ公園内のスポーツ施設の全施設を会場としたひまわりフェスティバルを行いました。新たに動物との触れ合いコーナーやプロレスの実演を加え、延べ6,221名が来場され、大盛況でありました。また、多目的広場では、各種大会等の利用者ニーズに合わせた時間外の貸し出しや、7月、8月の夏期限定で早朝の時間外利用の貸し出しを行い、部活動の練習など多くの学生に利用されたことは、利用者サービスの向上に大きく寄与したものと考えております。

多くの来場者が見込まれるちばぎんカップでは、直前の大雪により開催が危ぶまれてしまいましたが、大会主催者や関係団体と連携をとり、無事に開催できたことは来場者からも好評を得ており、評価できると考えております。

今後も引き続き、管理運営の基準、事業計画書及び提案書に沿った適正な業務の遂行に努め、より利用者の満足度を向上させる取り組みを期待しているところでございます。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しましてご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

いかがですか。

○委員 市による評価通り、管理運営が良好に行われていたということで、よろしいのではないかと思います。

○部会長 よろしいですか。

○委員 はい。

○部会長 市の所見のところ、**「チームの意向を踏まえ、芝の維持管理方法を調整し」**と書いてあったので、具体的にはどんなことなのかと見てみましたら、資料6-4の5ページ、この蘇我球技場、①の総評の3行目あたりに、**「新しいジェフの監督になった鈴木監督からの要望で、芝を長めにさせていただきたいという要望に対応することにした」**と。あと、その他のことも書いてありますね、芝のこと。こういったことなのですね、具体的に

は。少し興味を持ったので伺いますが、芝を長目にする、短目にするというのは、短目にするると滑りやすいということですか。滑りやすいので少し長めにして欲しいと。

○都市総務課長 短いと転がりやすいんです。

○部会長 球が速く転がるから、余りにも速く転がるので、少し長目にして欲しいと、そういったことですか。

○都市総務課長 そのほうが止まるという。

○部会長 なるほど。そういった要望にきちんと応えてきたということですね。わかりました。

私も今のところを少し疑問に思ったぐらいで、市の評価については特に、このとおりでよろしいかなと思いました。

それでは、この市による評価については以上で終わりたいと思います。

続きまして、6、都市局指定管理者選定評価委員会の意見についてですが、指定管理者が次年度以降、より適正な管理運営を行えるようにするための意見又は助言などごさいますでしょうか。

○委員 先ほど質問の中で申し上げましたが、利用者ニーズに対しての対応を、直接対応するだけではなくて、利用者の要望をクリアにするような何かをしていただきたいということ、スクール受講生云々というところもありましたので、PRの部分をより積極的にしていただければと思います。

○部会長 今の点は、利用者さんの要望に対して、改善という意味で応えるというだけではなく、その要望をきちんと理解して、それが予算の関係で改善できないとしても、うまく説明して、納得していただくということですか。

○委員 はい。

○部会長 そういう意味ですね。

○委員 数のことをあまり言うてはと思いますが、アンケートが減っているというのが気になります。やはり利用者のニーズを酌み取るということをもう少し積極的にやられたほうがいいのかと思いました。

あとは、利用者人数、稼働率を更に増やして欲しいということがあります。

○部会長 私も、引き続きアンケートを適宜実施していただいて、回答数の増加に努めていただいて、利用者の要望を把握しつつ、要望にできるだけ応えるように管理運営を実施していただきたいということ。

それから、もう一点、今日も確か、なでしこ代表のアジアカップの準決勝が夜あると思いますが、そういった女子代表の国際試合とか全国高校サッカーの開催といった、魅力あるイベントの誘致をさらに進めて、施設の認知度及び信頼度を高めていただきたいと思います。

それでは、6の都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですが、先ほど項目ごとにいただいた意見も含め、今述べたようなことを部会の意見といたします。

最後に、資料6-6、6-7、指定管理者財務諸表から見る当該指定管理者の財務状況についてですが、何かご質問、ご意見等ごさいますでしょうか。

○委員 質問は特にごさいません。指定管理者、業者の財務諸表のうち損益計算書を見ると、両社とも前年度に比べて業績が向上しているのが明らかです。貸借対照表から読み取れる財務の安全性も特に問題がなく、良好であると思われます。

以上です。

○部会長 ありがとうございます。

以上で議題1、千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園

多目的広場（フクダ電子スクエア）の年度評価を終わります。

続きまして、議題2、千葉県蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の年度評価に入ります。

初めに、資料7-1、平成25年度指定管理者評価シート、1、基本情報から4、指定管理者による自己評価について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○公園管理課長 それでは、資料7-1でございます。

1、基本情報。施設名、蘇我スポーツ公園庭球場。指定管理者、シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体。指定期間は平成23年4月23日から平成27年3月31日。所管課につきましては、公園管理課でございます。

2、管理運営の実績でございます。

（1）主な実施事業。

①指定管理事業。施設管理運営業務、これは施設利用の予約、使用許可、料金の徴収などでございます。維持管理業務でございます。これは人工芝、天然芝等の維持管理でございます。設備機器管理業務、これは機器の点検及び管理でございます。それから清掃業務、保安警備業務でございます。

②自主事業。飲食・物販業務。売店の設置及び管理による収益業務でございます。これは臨時売店を8店舗設置しまして、ラケットのレンタルあるいはテニスグッズの販売をいたしました。それから、テニススクール事業。ジュニア、親子、一般のテニススクールの運営業務でございます。8コース、各週1回、参加人数は52名でございました。それから、平日割引事業。これは平日の9時から15時のコート利用料金の割引でございます。1面1コマ、2時間でございますが、これを通常料金から500円の割引を行いました。

続きまして、Hills K-Nagatsuka Tennis Academy。これはジュニアを対象とした選手育成のテニススクールの運営業務でございます。2コース、各週3回・5回、参加人数は42名でございます。これは長塚京子プロを校長に迎えまして、実施いたしました。

続きまして、イベントの企画・誘致業務。イベント開催団体の誘致、企画・運営に係る業務でございます。ひまわりフェスティバルにつきましては、先ほどと同様でございます。それから、ウイークデイトーナメントを開催してございます。

（2）利用状況でございます。

①利用人数、9万2,657名、前年度比で162.5%でございます。

稼働率につきましては、66.24%、対前年度比で14.5%の増となっております。

続きまして、2ページをお願いします。（3）収支状況でございます。

①収入実績。指定管理委託料、819万2,000円。利用料金が3,055万7,000円。自主事業が2,695万7,000円。その他98万円。合計で6,668万6,000円でございます。

支出実績でございます。人件費、1,806万2,000円。事務費、605万2,000円。管理費、1,463万5,000円。自主事業が3,123万6,000円。合計で6,998万5,000円でございます。

3、収支実績、決算額でございますが、329万9,000円の赤字ということになってございます。

続きまして、指定管理者が行った処分の件数でございます。使用許可が8,126件でございます。

（5）市への審査請求、これは件数はゼロでございます。

（6）情報公開の状況でございます。文書開示申し出は一件もございませんでした。

続きまして、3ページをお願いします。3、利用者ニーズ・満足度の把握でございます。

（1）指定管理者が行ったアンケート調査の結果でございます。

①アンケート調査の実施方法としましては、アンケートボックスを常置し、年間を通し

て利用者意見を収集いたしました。回答者数は473名でございました。質問項目としましては、性別、年齢層、居住市町村、目的、接客、清掃美化、バリアフリー、使いやすさ、来場回数、行ってほしい催し、要望等でございます。

調査の結果でございます。施設利用者473名から回答を得てございます。実施事業に関しましては、設備面などの要望はあるものの、各部屋やコートを使いやすさ等について良好な評価を得てございます。スタッフの対応状況につきましては、好意的な意見が多く、良好な評価を得ております。清掃状況につきましても、良好な評価を得てございます。総合的な満足度としましては、設備面などでの要望が多々ございましたが、管理運営面については良好な結果を得てございます。また、来場回数が複数のリピーターが多くなっていることから、利用者の満足度は一定程度あると判断してございます。

③アンケートにより得られた主な意見でございます。まず、設備面等についてでございますが、「駐車場代を安くしてほしい」というご意見がございました。これにつきましては、平日割引事業、500円の割引でございまして、これを行っております。施設の利用料金を安くしてございますので、車で来場された方についてはトータルの出費を軽減しているような状況でございます。これにつきましては、今後も継続で実施してまいります。それから、「日陰が欲しい」、「ベンチが欲しい」、「コートへの出入り口を増やしてほしい」という要望がございました。コートへの出入り口につきましては、市のほうでの階段の設置を行ってまいります。それから、海辺ですので風が強いというご意見もございましたが、この辺も暴風対策を考えていきたいと思っております。

次に、市に寄せられた意見、苦情でございますが、こちらは一件もございませんでした。

続きまして、指定管理者による自己評価ですが、法令や管理運営の基準を遵守し、事業計画に基づき、指定管理業務を行うとともに、懸案事項であった稼働率の向上を図るため、平日のコートの利用料金割引や大会誘致等を行い、稼働率が増加したことで、一定の効果を得ることができました。

利用者アンケートでは、運営の部分についてはおおむね良好な結果が得られましたが、修繕を必要とするような施設面での指摘もあり、大規模な修繕については市と協議を行って対応したいとなっております。

自主事業につきましては、昨年度に引き続きひまわりフェスティバルにおいてオープンのテニス大会を開催し、平日にウイークデイテニストーナメントを開催して、参加者から好評をいただきました。しかしながら、テニススクールでは、受講者から好評をいただきましたが、受講者数が目標を下回る結果となっております。新たに長塚京子プロを校長に迎え、テニスアカデミーを開校し、ジュニア選手の育成に貢献しました。

今後もさらなる施設の周知を図るとともに、特に平日の利用率を伸ばすため、大会等の積極的な誘致や自主事業の効果的な実施により、利用状況を改善していきたいとでございます。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しましてご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

○委員 利用状況ですけれども、前年度に比べて大幅に利用者数が増えていますし、目標値も超えています。また、稼働率も前年度、目標値、いずれも上回っています。平日割引事業だとか、テニスアカデミーを新規に開始されるなど、かなり努力されて、利用状況が改善されていることが読み取れると思います。

ただ、自主事業でスクール受講者が計画を下回ったということですが、これは、



例えばテニスアカデミーが新しくできたからという影響ですか、それとも、それとは関係なく何か理由があるのでしょうか。

- 公園管理課長 テニスアカデミーの影響というよりも、広報が足りなかった部分があると思います。
- 委員 それから、3の利用者ニーズ、満足度等の把握というところのアンケートにより得られた主な意見の中で、ベンチが欲しいというのがありますが、コートの中にベンチはありましたよね。これは、ベンチを増やして欲しいということですか。
- 公園管理課 常設のベンチは置いていません。移動式を置くにしても、ヒルスコートが10面、10面で全部つながっているコートなので、コートの邪魔にならないところによくプールで置いてあるようなベンチを置くとか、そういったところは工夫してやっていきたいとは考えてはいます。
- 委員 わかりました。以上です。
- 部会長 何かございますか。
- 委員 すみません、実際見たときのことを思い出せないのですが、利用するときにはどのようにするのですか。チケットを買うとか。
- 公園管理課 利用申し込みは基本的にはインターネットのシステムでやっていますので。管理棟の中に受付がございますので、基本的にはそこで申込書を書いていただいて、利用料金をお支払していただくような形に。
- 委員 その前にインターネットでの手続きがあるということですね。
- 公園管理課 そうです。予約システムで申し込んで利用できる申し込みの仕方もございますし、窓口で空いていれば利用することももちろん可能です。
- 委員 お伺いしたのは、先ほどもそうなんですが、利用者アンケートをして、いろんな層が出てきますけれども、こんな人が多いとか、それと実際使っているかという話は全く別で、どういう人が来ているかというのは、利用の仕方のところで何か把握する仕組みをつくれば、それこそピーターがどれくらいいるとか、どんな人がいるとか、把握することができないかなと思いました。割といろんなところで、そういう形でどんな人たちがどんな時間帯で利用するとか、その辺を把握していかないと。利用に関しては、今、頭打ちになっているわけですよね。そこは変えていくのは難しいかなと思ひまして、もし利用の仕方のところでその可能性があれば、そういう方法も一つあるかなと思います。  
アンケートに関しては、課題というかスクール受講者が下回ってというのがありますが、スクールの受講生にはアンケートをとってないんですね。
- 公園管理課 受講生には特に声としてはとっていないです。
- 委員 人数が余り多くないので、その処理の仕方に関しては非常に難しいかとは思いますが、例えば先ほどの広報の仕方とか、そういった課題がうっすら見えているのであれば、その辺りの情報を仕入れるようなものがあったらいいかなと思いました。  
それから、アンケートでベンチの話もありましたけれども、駐車場は市で決定するところでしたか。どうにもならないことなんでしょうね。
- 公園管理課 駐車場につきましては、ちょっと管理手法が違ってございまして、指定管理業務と都市公園法の管理許可という制度を駐車場の管理手法に取り入れていますので、料金形態につきましては、もちろん管理受者、指定管理者にはなるんですが、そこと協議をして金額の調整ということは可能ではございます。
- 委員 結果的に幾らで一緒だろうという話ではきっとないので、駐車場代を支払っても仕方がないという心理を突いていかないと、ずっと出ている話なので、やっぱりそこは現実的というところだけではなく、少し改善方法を考えていく必要があると感じました。

- 部会長 私はその点で思ったのは、1時間100円というのは、ほかの駐車場を考えると決して高いものではない。資料にも書いてありますが、何かの大会で1日中使っていたときに多くなる。今、町なかの駐車場を見ると、限度があって、1時間200円なんだけれども1,000円が限度というような、そういう限度があるやり方もありますね。そういったことも今後、工夫、検討課題として考えていただければいいと思いますが、何か市でコメントございますか、今の委員の指摘に対して。
- 公園管理課長 この駐車場代収入が事業者としては指定管理業務を行っていく上で大きな部分、要は指定管理で少し足りない分を駐車場のほうで補っているような状況もありますので、今後どういった対応ができるか、指定管理者と相談させていただきたいと思います。
- 部会長 よろしいですか。
- 委員 はい。
- 部会長 私から少し。  
この資料を見ますと、利用者はかなり増えている。利用者増にかかわらず、収支は計画よりもかなり悪かった。原因は割とはっきりしているんじゃないかと思うんです。収支の備考のところに書いてありますが、利用者増に伴う水道光熱費の増と、平日割引の利用者増に伴う利用料金負担の増といったことだと思うんです。そうすると、これは利用者を増やすための方策を今新しくとり始めた結果そうなったので、過渡的には仕方ないと私なんかは見てますけれども、市ではどのようにご覧になっていますか。
- 公園管理課長 我々も同様な考えでおります。
- 部会長 それから、4の指定管理者による自己評価のところ、先ほどテニススクールの受講者が目標を下回ったことが話題になっていて、アンケートをその方にとったかどうかも話題になっていたんですが、このアンケートかどうかは別にしまして、「受講者からは好評をいただいていたが」という記載があるので、スクール自体は好評なので、いいスクールなのだと思うんです。だけれども十分に利用されていない状態は、もったいないですね。  
そうすると、それを知ってもらうためには、ロコミや広報だと思うのですが、広報について見ると、資料7-5の43ページに、「本施設を何でお知りになりましたか」というのを見ると、チラシが41.2%で、予想外に多いんです。魅力的なチラシなのか、私は拝見したかもしれませんが記憶にないのですが、そのチラシが誘因になっているのだとすれば、チラシをどこに置いてあるのかなということ。どういったところに置いてあるんですか、チラシというのは。おわかりになりますか。市役所、区役所なんかにも置いてあるのでしょうか。
- 公園管理課 25年度は取り入れた当初ですので、もちろん区役所、市役所の正面玄関には置いてございます。
- 公園管理課長 このご回答いただいた方がチラシという選択はしておられるのですけれども、我々の出している広報紙で市政だよりというのがございまして、そういったものも含めてこのチラシの数字になっている可能性はあろうかと思えます。場所につきましては、確認いたします。設置場所につきましては、広報紙であれば、各市の施設に置いてございますので、市民の目に触れる機会は多々あろうかと思えます。
- 部会長 わかりました。そういった誘因になっているものを置く場所を増やしていければ、それだけまた広報になりますものね。  
他に何かございますか。よろしいですか。  
ありがとうございました。  
それでは、1の基本情報から4の指定管理者による自己評価については、以上で終わり

としたいと思います。

次に、市による評価について事務局のほうからお願いいたします。

○公園管理課長 それでは、4ページをお願いします。

初めに、履行状況の確認からお願いいたします。

(1) 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理。

関係法令等の遵守。個人情報保護及び情報公開の規程・管理でございますが、関係法令を遵守し、個人情報保護管理規程を策定して方針を定め、内部教育等で徹底を図っておりました。履行状況は2でございます。施設利用時の適切な手続。予約から利用完了まで管理基準の要件に沿い、適切な手続や料金徴収を行っておりましたので、2でございます。労働関係法令を遵守した労働条件の確保。これは2でございます。

モニタリングの考え方。利用者アンケートの実施。カウンターに常設して要望、苦情を年2回集計し、業務改善に生かしておりました。2でございます。指定管理者による自己評価の実施。毎月セルフモニタリングを実施し、業務改善に生かしておりました。2でございます。

施設の適切な管理。事業計画書及び事業報告書の内容。管理運営基準に適合した計画書を作成し、計画に基づく内容を実行した報告書を遅滞なく提出しておりました。2でございます。

(2) 市民サービスの向上。

利用者サービスの向上。条例で定める供用時間外の貸し出し。大会等の利用者のニーズに合わせ、供用時間外の施設の貸し出しを行っておりました。また、夏季限定で7時から早朝利用の貸し出しを行っておりました。履行状況は3でございます。予約システムの管理。予約システムを適切に管理し、利用者の利便性の向上に努めておりましたので、2でございます。

(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力。

利用促進の方策。広報・プロモーションの促進。広報計画に基づき、施設ホームページ、チラシ、ツイッターなど、各種媒体により効果的な施設及びイベントの告知を行っておりました。2でございます。利用率の向上。積極的な大会誘致や平日割引事業などを実施し、利用率の改善に努めておりました。2でございます。

自主事業の効果的な実施。スクール、テニス大会等の実施。千葉市出身の長塚京子プロを校長に迎え、Hills K-Nagatsuka Tennis Academyを新たに開校したほか、蘇我球技場等と連携したひまわりフェスティバルでテニス大会を開催しておりましたので、3でございます。平日割引事業の実施。平日の利用率の向上と利用者サービスのため、コート料金の割引を実施しておりましたので、3でございます。

市・関係機関等の連絡・調整。定例会の開催。市との定例会を開催したほか、随時、連絡調整を行っておりましたので、2でございます。

利用調整会議の開催。関係機関との利用調整会議を行ったほか、随時、利用前後の連絡調整を行っておりましたので、2でございます。

次のページです。施設等の維持管理。施設・フィールドの維持管理。状況に応じた作業を行い、人口芝及び周辺の芝生の管理を適切に行っておりました。2でございます。清掃につきましても適切に行っておりましたので2、保安警備につきましても2でございます。

緊急・非常時の対応です。けが・事故等への対応。適切に対応を行っており、市への報告も速やかに行っておりましたので、2でございます。

(4) 管理経費の縮減。節減への取り組み。予算執行状況でございます。当初見込んだ利用率に満たなかったこと等による収入減に応じて、事務費、管理費等の各支出を抑え、

対応しておりました。2でございます。

合計で41ポイント、平均で2.2でございます。

前のページ、4ページの左上でございます。市による評価としましては、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていたと判断できるため、Aでございます。

所見ですが、法令や管理運営の基準を遵守し、事業計画に基づき指定管理業務を行うとともに、平日の利用率向上を図るため、自主事業としてコート利用料金の割引や各種大会等のニーズに合わせて時間外の貸し出しを行うなど、利用者サービスの向上を図っております。昨年度より稼働率や利用者数が増加しており、目標値を超える成果を達成したことは評価できると考えております。

自主事業としましては、新たに千葉県出身の長塚京子プロを校長に迎え、国内ジュニアのトップにとどまらず、国際的に活躍できる選手の育成強化を目的としたHills K-Nagatsuka Tennis Academyを開校し、受講者が全国大会や関東大会などに出場するなど、一定の成果を上げることができました。しかしながら、平日の利用率向上とテニスの普及活動を目的としたテニススクールでは、残念ながら昨年引き続き受講者の目標人数を下回る結果となっております。今後も引き続き管理運営の基準、事業計画書及び提案書に沿った適正な業務の遂行に努め、より利用者の満足度を向上させる取り組みを期待するところでございます。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しましてご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

よろしいですか。

○委員 私もAということでよろしいと思います。この自主事業の効果的な実施の履行状況の評価のところですけれども、スクール、テニス大会等の実施というのは、スクールの受講者は減っていますが、それ以外の部分でかなりのプラス要素があるので、総合的に3という評価になっているのですか。

○公園管理課長 はい。

○委員 下の平日割引事業の実施というのは、これを実施したこと自体で3という評価ですか。

○公園管理課長 そうです。割引を実施したことによって利用人数が増えているというところでの3です。

○委員 これはもともと平日割引事業を行うというのが計画としてありましたね。そうすると、来年度、再来年度、割引事業を行ったときに、ずっとこの評価が3になると考えてよいでしょうか。

○公園管理課長 来年度というか今年度分につきましても、これによって利用者が伸びたということであれば。

○委員 その効果ということですね。

○公園管理課長 そうです。

○委員 効果を考えてそういう点数になったということですね。

○公園管理課長 はい。

○部会長 よろしいですか。

○委員 はい。

○部会長 では、市による評価のところについては、了解いたしましたということで、これ

で終わりにしたいと思います。

続きまして、6、都市局指定管理者選定評価委員会の意見についてですが、より適正な管理運営を行えるよう、意見または助言などございますでしょうか。

どうぞ。

○委員 先ほども言いましたが、利用者の分析をより行って利用率をアップさせるということと、それからテニススクールです。非常にいいということなので、このPRとその成果のPRも是非たくさんしていただくことによって、より参加者が増えると思いますので、そちらのPRをお願いしたいと思います。

○委員 私も同じです。特に利用率の向上という部分です。

○部会長 私も、アカデミーを初め、自主事業も積極的に展開しており、アンケートに見られる利用者からの要望にも対応しようとしており、評価できると思います。さらに広報に力を入れて周知を図ることが大切ですが、先ほど少し触れましたように、チラシによる来場が多いということからして、チラシを置く場所を増やして欲しいと。増やすように努めて欲しいということです。それから、ホームページを見ましたら、本年4月からはソフトテニススクールも開校したようなので、多くの人にその情報が届くように期待いたします。

では、6の都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですが、先ほど項目ごとにいただいた意見も含め、部会の意見といたします。

以上で議題2、千葉市蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の年度評価を終わります。

それでは、続きまして議題（3）、千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の総合評価に入ります。

初めに事務局より報告をお願いいたします。

○公園管理課長 6－8、指定管理者総合評価シートをごらんください。

基本情報でございます。施設名、蘇我球技場・蘇我スポーツ公園多目的広場。指定管理者、シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体。指定管理期間につきましては、平成22年4月1日から平成27年3月31日。所管課は公園管理課でございます。

指定管理業務の概要ですが、施設管理運営業務、それから維持管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、保安警備業務でございます。

2、総合評価でございます。過年度の管理運営業務に対する評価です。

1、市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理。下の3つの項目につきまして判断しまして、Aということでございます。評価の基準につきましては、この表の下にございます。A、おおむね事業計画どおりの実績・成果が認められたと判断してございます。評価の理由でございますが、個人情報保護法規程や情報公開規程を整備するなど、関係法令を遵守している。また、個人情報の管理につきましては、鍵のかかる書庫で適正に保管されております。利用者を対象としたアンケートからは、各年度においてもおおむね高評価を得てございます。以上で、Aでございます。

次に、2、市民サービスの向上。施設の貸し出し方法、利用者への支援等、Aでございまして、市民サービスの向上全体としましてもAでございまして。評価の理由ですが、施設の貸し出しにつきましては、計画に基づき、予約システムを構築し、利便性の向上を図っておりました。利用者支援につきましては、各種大会等で利用者ニーズに合わせた時間外の貸し出しや夏季限定での早朝の時間外利用の貸し出しを行っておりました。

3、施設の効用の発揮、施設管理能力でございます。これにつきましては、利用促進の方策、管理体制、施設備品の維持管理、自主事業の効果的な実施、いずれもAでござい

して、全体としてAでございます。評価の理由ですが、利用促進につきましては、ホームページやツイッターを活用するなど、積極的に情報を発信しておりました。Jリーグや各種大会時において円滑な運営がされており、各経営団体との良好な関係がうかがえました。また、施設や備品の管理につきましても、指定管理者の瑕疵による事故も発生しておらず、良好でございました。自主事業につきましては、ひまわりフェスティバルやワクワク健康づくり教室など、提案された内容は開催されておりました。

次に、4、管理経費の縮減です。収入見積りの妥当性、支出見積りの妥当性、支出状況につきまして、いずれも計画どおりということで、Aでございます。評価の理由としては、指定管理者の経営努力により経費の節減が行われ、収支を黒字化したことは評価できると考えてございます。

以上、総合的に勘案いたしまして、全体として評価はAでございます。

それから、次に6-9でございます。指定管理者総合評価資料をごらんください。

2、管理運営状況の(2)利用状況でございます。利用者数でございますが、平成22年度36万8,164人、23年度40万132人、24年度40万826人、平成25年度44万7,133人となっております。計画達成率としましては、上下ございますが、平成25年度につきましては106.8ということでございます。

次に、稼働率でございますが、蘇我球技場のほうですが、22年度が31.1%、23年度が33.4%、24年度が32.8%、25年度が32.4%でございます。

イ、多目的広場でございますが、稼働率、平成22年度が67.5%、23年度67.8%、24年度69.2%、25年度も同じく69.2%で、7割近い実績がございます。

次のページでございます。利用者意見への対応状況でございます。

平成22年度でございますが、「イベント時にベビーカー・車椅子使用者が入場するために利用するエレベーターの場所をわかりやすくしてほしい」というご意見がございまして、これにつきましては、イベント時には球場前やエレベーター等付近に案内看板を設置するとともに、エレベーター付近の案内スタッフが積極的に誘導するようにいたしました。

平成23年度です。蘇我球技場です。「地域の人々が参加しやすいようなイベントを今後行ってほしい」、これにつきましては、野菜市やひまわりフェスティバルなどの地域参加イベントを実施いたしました。「今後もよいピッチコンディションを維持してほしい」、Jリーグよりピッチコンディションが良好との評価を得てございます。多目的広場につきましては、「雨天時のトイレや通路が汚い。匂いが臭い」というご意見がございまして、雨天時や利用者の多い日には、臨時で清掃を行いました。また、昨年、フィールド周辺芝にQVCマリンフィールドの旧の人口芝を敷設したことにより、汚れに関する意見が減りました。

平成24年度です。蘇我球技場につきましては、「音楽等のイベントやライブを行ってほしい」というお話がございまして、これにつきましては、新たに蘇我音村フェスティバルを開催いたしました。引き続き野菜市やひまわりフェスティバルなどの地域参加イベントも行っております。常によりよいピッチコンディションを維持してほしいとのご要望に対しては、そのように対応して、よい状態のピッチコンディションを確保してございます。「飲食店の種類を増やしてほしい。売店メニューを変えてほしい」とのご要望がございまして、これは季節に応じたメニューを導入するなど、工夫を行ってございます。また、試合時は対戦チームの所在地の物産展も出店してございます。

平成25年度につきましては、先ほどご説明したとおりでございます。

次のページでございます。収支状況ですが、表の一番下でございますが、収支の状況です。

単位は千円単位でございます。平成22年度が、933万7,000円の赤字、平成23年度が576万9,000円のプラス、24年度が849万6,000円のプラス、平成25年度が2,003万9,000円のプラスでございます。過年度の合計でございますが、2,343万8,000円のプラスとなっております。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの指定管理者評価シート（案）の2、総合評価について審議いたします。

ただいまの事務局の報告に対しましてご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。よろしいですか。

特になければ、私も特に質問等はないのですが、次期以降もあり得る問題なので、苦情対応に関して委員のご意見を伺ってみたいことがあります。6-5の92ページ、これは下のほうの四角ですね、「高校生ボランティアが除雪作業を行った点について、それはおかしいのではないか」と。「有料試合では主催者がお金を払ってやるべきだ」というようなご意見があったようですが、色々な考え方がありますので、色々なご意見とか要望、苦情があると思うのです。私なんかは、これは高校生が除雪作業というものを経験すること自体もとてもいいことだし、みんなと協力してやって、結果を出して、早く試合ができたり、とてもいいことだなどと思って見ていたら、全く違うこういうご意見もいただいたりして。

対応としては、「相手の方をどんどんエスカレートして怒らせてもいけないので、謝罪した上で責任者に伝えると回答した」とあるのですが、こういった少数の意見でも、今の世の中というのは、少数の意見で「わっ」と来て、それによって何かが中止されたりとかもあるようなんですが、この苦情対応に関してはどう考えたらいいんですかね。気をつけなきゃいけないと思うのは、1人、2人こういう意見が来たからといって、次から例えばこの高校生の除雪作業をやめさせてしまうというのも、もったいないような気が私なんかはしたものですから。今の審議には直接は関係ないですが、次期以降もこういうことは、よくあることだと思ひまして、ご意見をお伺いできたらと思ったんです。

どうですか。

○委員 ボランティア云々という話でいえば、そのボランティアのあり方が色々最近、なかには強要するケースなんかも見られますので、この文面だけでどうこうというのはやや難しいですが、本当にボランティアにするのであれば、有料試合であってもいいことではないかと思っています。

苦情対応に関しては、アンケートでの意見も同じなのですが、意見をもらったということに対してまず対応をするというのが大前提で、このようにきちんと回答して、今後こういうことを検討しますということは、まず意見に対しての対応だと思いますので、そこは必須だと思います。ただし、内容自体に、その意見をもらったから、必ず変えなければいけないとは思いませんので、そこに関しては検討して、適宜というか、少し表現が難しいのですけれども、そこまで全部に対応しなくてもいい案件もあるかなと思います。ただ、回答をするということは非常に大事だと思います。

○部会長 ありがとうございます。

○委員 私も同じでして、ボランティアというのが、高校生が本当に自主的に行つてということであれば、これは良いことだと思います。あとは、苦情についてはしっかり対応をして、ボランティアを続けるということであれば、それに至った理由について説明を丁寧に行い、それで相手の方も納得されれば、それで良いのではないかと思います。ボランティアがなされるに至った背景についてはと少し気にかかりましたけれども。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、最後に（２）、次期指定管理者の選定に向けての意見ということですが、過年度の総合的な評価にとどまらず、次期指定管理者の選定に向け、審査基準や仕様の変更についての助言も求められております。ご意見は何かございますか。

○部会長 はい。どうぞ。

○委員 今の話の答えになるかわからないのですが、1つは、いろいろ事業をするときの広報活動のあり方が結構大事だと思いますので、そこをどのように工夫するかという観点を求めているのかなと思います。

それが1つと、もう一つ、自主事業をどのようにして行うかという、内容も含め、そこは非常に指定管理者で大事なところだと思います。とかくだんだん長くなっていくと、毎年同じ自主事業を継続することがいいものも当然ありますので、それはそれで非常にいいことなんですが、とかくマンネリ化するというケースもなくはないと思いますので、自主事業も長期的にずっと継続していくというものと、それから、新規で開発するという、そういうアイデアなんかも入れてもらえるようにするとどうかなと思っています。

○部会長 ありがとうございます。

重なる部分もありますが、利用者数は少しずつ増加傾向にあるので、次期もさらに施設の魅力を高め、広報にも努めてもらいたいということ。

それから、アンケートの要望への対応は良好なので、次期も同様の姿勢で臨んでいただきたいこと。

3番目に、次期に向けて、管理運営基準につけ加えるべき項目というのは特にございませんが、施設運營業務に関し、利用促進の観点から、魅力あるイベント誘致の提案や効果的な広報の提案といったことを重視していただきたいと思います。

よろしいですか。

○委員 同じことですけれども、広報もありますけれども、利用者をいかにして増やすかという場合、リピーターの人もさらに来てもらう、それ以外の人も増やしていくということで、両面から利用者をいかに増やしていくのかということが大切であると思います。あとは施設を使っただいて、その利用者が満足してもらわないと、流れは断ち切られるので、満足度を高めるにはどうしたらいいのかということになると思います。その意味で、やはりアンケートというのが特に重要だと思います。苦情をどんどん言ってもらうようなアンケートでもいいのではないのでしょうか。それでどこを改善すればよいかのかがわかってくるので、こういった点を十分に考慮していただければと思います。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、以上を部会の意見といたします。

以上で議題3、千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の総合評価を終わります。

最後になりますが、議題4、千葉市蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の総合評価に入ります。

初めに、事務局よりご報告をお願いします。

○公園管理課長 7-6をお願いいたします。

1、基本情報でございます。施設名、蘇我スポーツ公園庭球場。指定管理者、シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体。指定期間は平成23年4月23日から平成27年3月31日。所管課は公園管理課でございます。

指定管理業務の概要でございますが、施設管理運營業務、維持管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、保安警備業務でございます。



2、総合評価でございます。（1）過年度の管理運營業務に対する評価。

市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理でございますが、関係法令の遵守、モニタリングの考え方等、全てAということで、1番としましてAでございます。評価の理由ですが、個人情報保護者規程や情報公開規程を整備するなど、関係法令を遵守している。また、個人情報の管理については、鍵のかかる書庫で適正に保管されております。利用者を対象としたアンケートからは、各年度においてもおおむね高評価を得てございます。

次に、2、市民サービスの向上。施設の貸し出し方法、利用者への支援、いずれもAで、全体としましてAでございます。施設の貸し出しにつきましては、計画に基づき、予約システムを構築し、利便性の向上を図っておりました。利用者支援につきましては、各種大会等で利用者ニーズに合わせた時間外の貸し出しや夏季限定で早朝の時間外利用の貸し出しを行っておりました。

続きまして、3、施設の効用の発揮、施設管理能力でございます。（1）利用促進の方策、これがAでございます。（2）施設備品の維持管理、これがAでございます。（3）自主事業の効果的な実施、これはSでございます。Sは、事業計画を超える実績・成果が認められた際にSといたします。3番、施設の効用の発揮、施設管理能力全体としまして、Sと判断いたしました。評価の理由ですが、利用促進につきましては、ホームページやツイッターを活用するなど、積極的に情報を発信しておりました。また、施設や備品の管理につきましても、指定管理者の瑕疵による事故も発生しておらず、良好でありました。自主事業につきましては、供用開始から利用率が低く、平日割引を行うなど、利用率を向上させました。また、本市出身の長塚京子プロを校長に迎え、受講者が全国大会や関東大会に出場するなど、大いに成果を上げてございました。

次に、4、管理経費の縮減でございます。収入見積もりの妥当性、これはBでございます。Bは、事業計画どおりの実績・成果が認められず、改善を要する事項がございました。これによりBです。支出につきましては、Aでございます。収支状況につきましては、全体として赤字ということがございまして、Bでございます。理由ですが、開設当初は利用料金や実施事業の収入が計画額を下回りましたが、平日割引を行う等の利用率の向上を図るとともに、指定管理者の経営努力により経費の節減を行い、収支のバランスを保つことに努めました。しかしながら、自主事業を含め、収支が赤字ということで、改善を要する状況でございました。管理経費の縮減につきましては、全体としてBでございます。

次に、総合評価でございますが、Aが2項目、Sが1項目、管理経費の縮減につきましてはBという評価がございましたが、全体としましてはAという評価を我々としては判断いたしました。

次に、7-7をお願いいたします。

2、管理運営状況の（2）利用状況をごらんください。利用者数でございますが、平成23年度が4万7,221人、平成24年度が5万7,020人、平成25年度が9万2,655人となっております。

次に、②稼働率ですが、23年度が43.9%、平成24年度が51.7%、平成25年度が66.2%まで稼働率が伸びました。平成25年度で達成率は110.3%でございます。

次のページをお願いします。利用者意見への対応状況でございます。

平成23年度は、「公園駐車場の入り口をわかりやすくしてほしい」という意見がございまして、これにつきましては、入り口と動線をわかりやすくするため、駐車場内に看板を設置いたしました。続きまして、「シャトルバスが欲しい。巡回バスを通してほしい」というご意見ですが、これにつきましては、土、日、祝日に運行するバスの時刻表を管理棟内に掲示し、利用者に周知を行いました。続きまして、「コート内壁を緑色にしてほし

い」というご要望がございまして、これは市において緑色に塗装し、対応いたしました。続きまして、「売店を設けてほしい」というご要望につきましては、大規模な大会時には仮設の売店を設置するよういたしました。続きまして、「時計を設置してほしい」というご意見がございまして、これにつきましては、管理棟内に時計を設置し、対応いたしました。

次に、平成24年度でございます。「施設利用料金が低い」というご意見につきましては、平日割引を実施いたしました。続きまして、「駐車場案内や施設の場所がわかりづらい」というご意見につきましては、駐車場内に看板を設置したほか、新たに外周フェンスに施設名称、看板幕を設置いたしました。

次のページをお願いいたします。収支状況でございます。こちら一番下の収支の欄をごらんいただきたいと思います。平成23年度が734万6,000円の赤字、平成24年度が308万6,000円の赤字、平成25年度は329万9,000円の赤字でございます。全体としましては、1,471万1,000円の赤字でございます。ただし、傾向とすれば、23年度に比較し、24、25が少し増えておりますが、かなり減少の傾向をたどっております。

説明は以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの指定管理者総合評価シート（案）の2、総合評価について審議いたします。

ただいまの事務局の報告に対しましてご意見等ございましたら、ご発言をお願いします。ございますか。

○委員 評価に関してどこまで言っているかわからないのですが、内容としては、自主事業をしたことによって来る人が増えたと。スクールもすごく成果があったと。ところが、収支のことでは自主事業で赤字になったというところがあるので、赤字だったけれども、内容はすごくよかったからSというところがちょっと合わない気もしました。収支では赤字だけれども、今後につながるようなものを得たということでない、文章としてのつながりが悪いような気がしました。

○部会長 この委員会でコメントを加えること自体は構わないと思うのですが、私なんかは少し違う考えでした。確かに、管理経費は、先ほども申し上げましたが、赤字だけれども、そういった利用者増促進のための方策としての初期費用としてやむを得ないのかなと、今は過渡的に。ただ、ずっとそれでいったら困るから、これから改善して行って欲しいということで、アカデミーなどの展開については、やっぱりS評価を与えていいのかなと思いました。

○委員 内容的にというより、この評価シートを見たときに、文章的なつながりが悪いので、今後にすごく繋がるとか、そういう表現が3番のところに入ると、スッと読めるかなと思いました。

○部会長 ありがとうございます。

○委員 この評価シートの管理経費の縮減のところの評価項目に、収入見積の妥当性と支出見積の妥当性という文言がありますが、この意味がよくわかりません。計画よりも収入が大幅に多いという場合には評価がよくなりますね。支出の場合は、計画よりも経費が削減されたというふうになると評価がよくなると考えることができます。恐らくそのように評価をなさっていると思いますが、少なくとも経費の場合は、計画よりも少ない場合に、計画どおり活動が行われなかったという可能性もあるのかなと思います。この見積の妥当性という言葉からすると、計画とそれほど差がない実績が上がったときに、計画の見積の妥当性があるというようにも考えられます。評価項目の表現自体が非常にわかりにくいよう

な気がしました。

○部会長 今回、これに代わってこういう表現のほうがいいんじゃないかというところまではどうですか。

○委員 今のところ、思い浮かばないのですけれど。評価項目としての見積の妥当性の意味が今ひとつよく分かりません。

○部会長 では、ご指摘を踏まえて、今後、表現等も検討していただくということでお願いします。

○委員 収支計画とか、そういうことですか。計画がどうかというのと3番が結果どうかということなんですよ、きっと。

○部会長 計画の妥当性は何で判断するかというと、やっぱり結果との関連でということなんでしょうね。

○委員 そうすると、差がないほうがいいというような、そういう評価もできてしまうような気がしますけれども、実際はそういう評価じゃないですよ。

○部会長 今すぐパッといい考えが浮かびませんが、指摘を踏まえて検討していただくということで。

それでは、今の点については以上でよろしいですか。

最後になりますけれども、(2) 指定管理者の選定に向けての意見ですけれども、ご意見、ご助言等ございますでしょうか。

どうぞ。

○委員 先ほどの広報についてと自主事業の新規事業というところも、もちろんあるのですが、それに加え、モニタリングの考え方の枠組みになるかもしれないのですが、アンケートをとるところがありますけれども、通常の活動、これまでずっとやられてきたことを担当するという部分と、自主事業も結構大事なところですので、そちらでもモニタリングしてもらえるような枠組みになるといいと感じました。

○委員 私は先ほどと同じで、利用者ニーズをくみ取るという意味でのアンケートの有効な実施とその活用、その内容や苦情へのフィードバックですね、そのところが大切ではないかと思います。

○部会長 私のほうは、まず1番目に、施設効用発揮のための利用促進策が功を奏しつつあると。利用者が増加している。こういう状況を次期以降もさらに進展させていただきたいということが1点目です。

2点目は、収支が赤字となったことについては、私の考えでは、新規に利用促進策を展開した初期費用としてやむを得ない面もあると。ただ、次期に向けて、スクールやアカデミーの料金設定も検討課題に乗せていただきたいということです。

今の2点以外に、管理運営基準について特に付加すべき項目とか付加すべき基準というのは、特にございません。

それでは、以上を部会の意見とさせていただきます。

以上で、議題4、千葉市蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の総合評価を終わります。

本日の議題は全て終了いたしましたので、これをもって、平成26年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会します。

事務局にお返しいたします。

○公園緑地部長 本日は長時間にわたりまして慎重なご審議をいただきまして、まことにありがとうございました。

今後の施設の管理運営につきましては、頂戴いたしました多くのご意見、これらを踏ま

えまして、より適正に実施して参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

○公園管理課長 すみません。チラシの状況でございます。近隣のテニスショップにチラシを配布してございます。ですから、テニスに興味のある方は非常に見やすい状況で。あとは、近隣の住宅へのポスティングも行っております。という状況でございます。

○事務局 本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。